

海洋高校のチャレンジ

～あなたは、どんな挑戦をしたいですか？～

第4号 海洋だより

令和3年9月6日発行

京都府立海洋高等学校

7・8月の行事から

テスト週間 ※7月1日(木)～6日(火)

1学期期末考査が、4日間の日程で行われました。本校では、新しい学びに対応すべく、単元テストの導入を推進しています。

単元テスト：いくつかの単元をまとめて試験する考査と違い、単元毎に試験を実施するため範囲が狭く、単元に応じた学力を評価できる。

3年生研究成果中間発表会 7月9日(金)

各学科・コースの代表が、全国の生徒研究発表大会につながる出場枠をかけて、日頃の研究成果を発表しました。感染症



1学期終業式 7月20日(金)

新型コロナウイルス感染症の状況も落ち着きを見せたこの時期、久しぶりに全校生徒が集まりました。校長式辞、各部長の講話等で1学期を振り返り、長期休業に向けた話を聴きました。



ホームページ紹介

8月、早くも35万件突破 8月30日現在

異例のペースで昨年度のアクセス件数の半数に到達しようとしています。今年度もコロナ禍にあって、情報発信の要としてホームページを活用しています。

今後も学校説明会や入試情報、教育活動の紹介、部活動での活躍等、様々な情報を掲載していきます。

「中学生の皆さまへ」

学校説明会等の案内を掲載しています。

「学校行事予定」

2学期は、行事や資格・検定等の予定がほぼ毎日入っています。

「新着情報」

毎日更新されます。見逃さないように注目してください。

「COUNTER」

令和3.4～が、今年度のアクセス数となります。

[海洋高校ホームページはコチラから]

<http://www.kyoto-be.ne.jp/kaiyou-hs/cms/>

(紙面の2次元バーコード：詳細情報のリンク)

所在地：京都府宮津市宇上司1567-1 Tel 0772-25-0331



7・8月のトピックス (HPより)

P T A 地区懇談会 本校：7月22日(木) 京都市内：23日(金)

約半数が親元を離れて生活をしている状況でもあり、多くの保護者の方がP T A 地区懇談会に参加されました。懇談会の前には、学年別に学科・コース選択保護者説明会(1年生)、修学旅行保護者説明会(2年生)、分野別進路説明会・相談会(3年生)を実施しました。

P T A 地区懇談会では、P T A 会長及び校長の挨拶、各部から1学期の教育活動等の報告が行われました。その後、担任面談(1・2年)三者面談(3年)を行い、相互の連携や共通認識を深めました。

祝！日本海南部最優秀賞！！ 8月26日(木)

令和3年度日本海南部地区高等学校水産教育研究協議会 生徒研究発表大会にて、本校を代表して出場した海洋科学科3年による「守護神誕生するか！？～寄生虫からナマコを守れ！～」が、最優秀賞を受賞しました。これにより、12月に沖縄県で開催される全国大会への出場が決定しました。



学科・コースの取組 (7・8月)

夏季は「キャリアトライアル」週間が設定されていないため、今回は、各学科・コース独自の取組を紹介します。

| 学科・コース | 主な7・8月トピックス |
|--------|-----------------------------------|
| 海洋科学 | マイクロプラスチック調査、日本海南部地区生徒研究発表大会 |
| 航海船舶 | 海洋観測(2年生)、知財講演会(2・3年生) |
| 海洋技術 | ヒトデ堆肥製作、小型移動式クレーン技能講習 |
| 栽培環境 | トラフグ歯切り、校外施設の管理(旧小学校プール・休耕田) |
| 食品経済 | 食品技能コンテスト、ご当地！絶品うまいもん甲子園近畿エリア選抜大会 |

海洋科学科

例年、夏季休業中に海事分野等への進学希望者を対象に、4日間の航海実習を行っています。今年度は日帰りで2日間の実習としました。1日目は敦賀湾口、2日目は小浜湾沖・経ヶ岬沖においてマイクロプラスチック調査を実施しました。



京都府立丹後郷土資料館では、企画展「うららの海の文化遺産-海と人の持続可能な付き合い方を考える-」が開催され、その一部で本校の研究活動「海洋ごみ問題」を取り扱っていただきました。7月31日(土)には、生徒5名が説明ボランティアをさせていただきました。

海洋工学科 航海船舶コース

知財力開発校支援事業の一環として、知的財産に関する知識を身に付けるため弁理士様の講演を企画しました。この後、特許等の検索の実習も行いました。知的財産権を行使する力は現代社会において必要不可欠で、研究成果を特許等につなげていきます。



7月、将来の船長・航海士を目指して、海技従事者国家試験(※筆記試験)に2名が受験し、見事に合格しました。三級は、大卒レベルで超難関の国家試験です。

※免状取得には、筆記・口述試験の合格、乗船履歴、免許講習、健康診断が必要です。

左：四級海技士(航海) 右：三級海技士(航海)の筆記試験合格者

海洋技術コース



7月25日(日)、本校を会場に「小型移動式クレーン技能講習(実技)」が実施され、海洋技術コース希望者15名が受講しました。実技講習前には、受講にあつ



ての注意点及び安全第一で実技を行うこと等について指導していただきました。気温30℃を超える猛暑の中でしたが、生徒は資格取得に向けて全力で取り組みました。

海洋資源科 栽培環境コース

7月にトラフグの歯切りを行いました。トラフグの歯は非常に鋭く、空腹やストレス等により噛み合いを起こすため、尾びれや体が傷つき、商品価値が下がってしまいます。生徒は、トラフグに負担をかけないように、素早



く丁寧に歯切りを行うことができました。実は、歯は1回切って終わりではなく、切ったとしても成長とともにすぐに伸びるため、1年間に2回程度の歯切りが必要となります。

食品経済コース

8月11日(水)、全国の水産・海洋系高等学校をオンラインでつなぎ、「全国水産高等学校長協会主催 第19回全国水産・海洋高等学校食品技能コンテスト」が開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年度は中止となりましたが、今年度は多くの方々にお世話になり、リモートで開催していただきました。本校は、平成29年度、30年度は総合優勝を果たしています。



本年度は、目指していた総合優勝は叶いませんでしたが、開催していただいたことに心から感謝し、精一杯頑張り、筆記の部で優勝、総合の部で3位入賞を果たすことができました。

フィッシング技能コンテスト

全国の水産・海洋系高校における夏のビッグイベント 全国に集う釣り好きの高校生が部門別に釣果を競います。



①本校では、海浜清掃から行います。集めたごみも貴重な研究のデータに使用します。(右下)



②その後はひたすら釣りに集中。日頃釣り禁止の本校校橋では、カサゴ・キジハタ等が爆釣！！



③釣った魚は測定し、全国の大会事務局に報告



本校の優勝 シロギスの部(23.0cm) 大物の部(31.0cm)



ボランティアスタッフ含め90名が参加

学校説明会の御案内

- 10月2日(土) 第2回学校説明会
- 11月24日(水) 入試説明会 [京都市内]
- 12月4日(土) 第3回学校説明会

詳細は、今後本校HPなどでお知らせします。第2回の学校説明会も多彩なメニューを準備しています。マイカー(保護者等による)での来校も可能です。(第1回～第3回は、すべて違うメニューで参加できます。) ※10月の案内は、中学校に送付させていただいています。同じ文書をHPにも掲載していきます。



